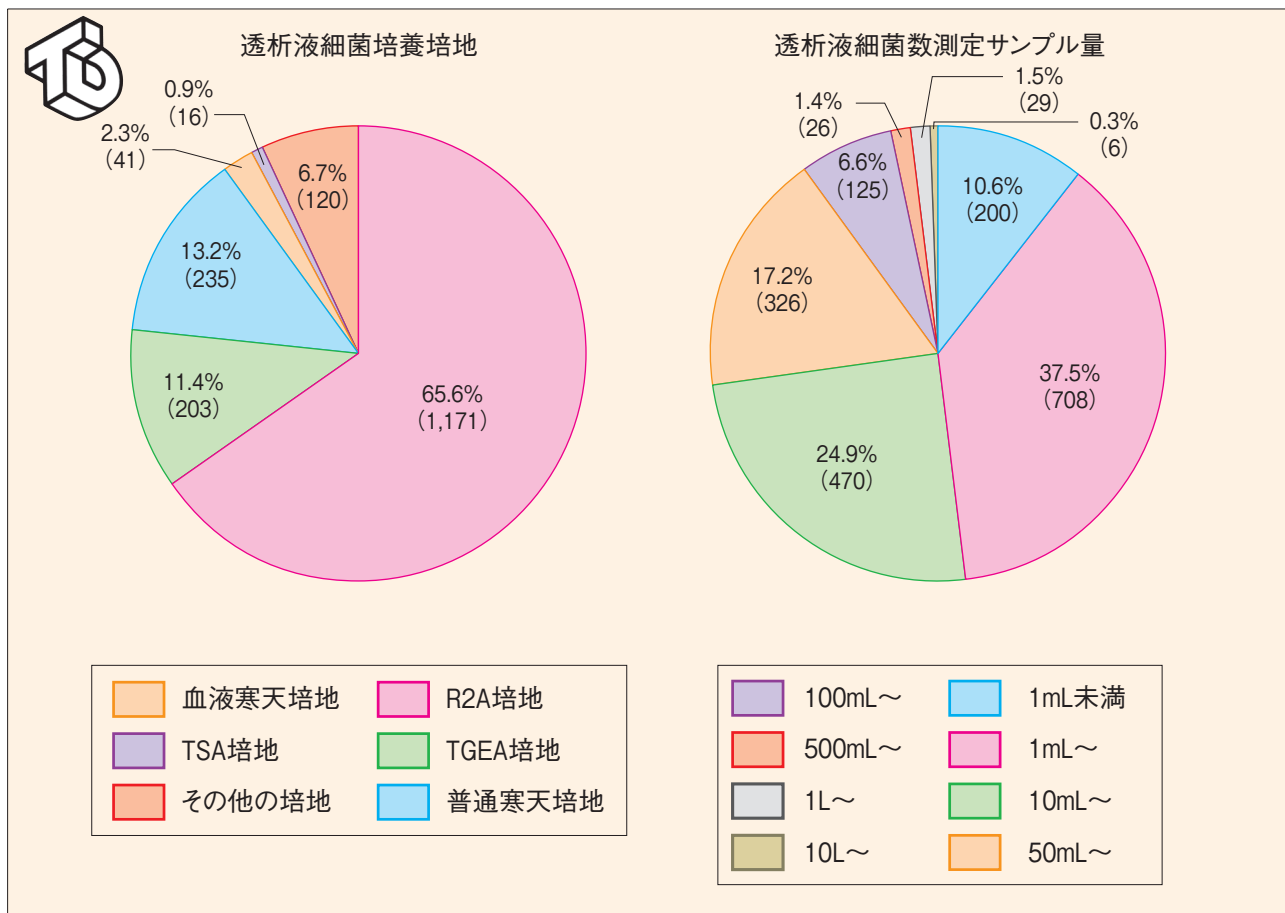


1) 透析液水質管理状況

(3) 透析液細菌検査 2) (図表24)



透析液細菌培養培地	R2A培地	TGEA培地	普通寒天培地	血液寒天培地	TSA培地	その他の培地	合計	不明	記載なし	総計
施設数	1,171	203	235	41	16	120	1,786	1,613	673	4,072
頻度 (%)	65.6	11.4	13.2	2.3	0.9	6.7	100.0			

透析液細菌数測定サンプル量	1mL未満	1mL	10mL	50mL	100mL	500mL	1L	10L	合計	不明	記載なし	総計
施設数	200	708	470	326	125	26	29	6	1,890	1,509	673	4,072
頻度 (%)	10.6	37.5	24.9	17.2	6.6	1.4	1.5	0.3	100.0			

施設調査による集計

解説

日本透析医学会は、透析液細菌培養についてR2A培地、TGEA培地などの貧栄養培地で行うことを推奨しており、77.0%の施設で使用されている。通常、平板培地の細菌検査のサンプル量は1mL未満であるが、超純粋透析液を担保する0.1cfu/mLは最低でも10mL以上のサンプル量が必要であり、51.9%の施設で10mL以上のサンプル量が検査されていた。

注：細菌培養培地のグラフにおいて、普通寒天培地の位置が昨年と異なっている。